

MEMO

百人一首 3番歌 柿本人麻呂

山鳥はひとり寝をする習性があるという言い伝えから、わびしい気持ちを重ねた歌。作者は柿本人麻呂。飛鳥時代の歌人。三十六歌仙の一人で、歌聖とも評されている。

百人一首

柿本人麻呂

あしびきの 山鳥の尾の

しだり尾の ながながし夜を

ひとりかも寝む